

平成27年6月30日



かなざわ

7月号 No.4

横浜市金沢区町屋町26-26 電話 781-2401

子どもたちの安全を守るために

学校長 高木 篤子



子どもたちの安全を守るためには、学校・家庭・地域、そして関係機関との連携が必要です。本校では、6月9日に、町内会・自治会長様、金沢区役所・金沢警察署・金沢土木事務所の関係機関の皆様、子ども会会長・PTA役員・地区委員の皆様にお集まりいただき、「スクールゾーン対策協議会」を行いました。

まず、スクールゾーン設定の目的は、「学校を中心とした一定地域を子どもの交通事故防止の重点地区としてとらえ、総合的な交通安全対策を樹立し、地域住民参加による地域ぐるみの交通安全活動を推進することによって、子どもの交通安全を確保し、地域の安全な交通環境の確立と定着化を図る」ことです。

このスクールゾーンをより安全なものにするために、それぞれの立場で気付いたことを出し合って協議し、行政として、地域として、保護者として、学校として、安全確保のためにできることを考えることに価値を感じています。今年度も、地区委員の方々が事前に通学路を調査し、写真や地図を添えて要望事項を分かりやすくまとめてくれました。資料を基に、標示や看板の補修や新設、信号機や交通状況の問題などについて、関係機関の方からご説明いただき、町内会長様からもご意見をいただきました。

このように、多くの方々が子どもたちのために熱心に協議して下さっていることを受け止め、何よりも子ども自身が自分の身を守ることを意識することが大事だと思います。6月13日には、金沢交通安全協会のご協力により交通安全教室を行いました。合わせて、7月4日の自転車マナーアップ県大会に向けてご指導いただき、6年生の代表は日々練習に励んでいます。

地域の方々には、登下校を見守り、お声掛けいただいていることに感謝申し上げます。保護者の皆様は、日常生活の中で行っているように、お子さんと一緒に身近な道路を歩いたり自転車に乗ったりしながら、子どもの目線に立って、どんな危険があるか、どうしたら安全かをその場で範を示して教えることが効果的です。



これからも、子どもたちの安全を守るために環境を整えとともに、子ども自身の意識を高めるよう共に働きかけていきましょう。